

目標達成計画

作成日: 平成 1年 7 月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 13 | 利用者を守る為には、消防署立ち合いの下、専門的な指導を受け避難訓練を実施し、災害時には地域の拠点となることを念頭に備蓄の用意も検討してほしい。 | 消防署立ち合いの、各種災害の避難訓練を行い、災害発生時の、各避難経路を確立する。施設以外の備蓄に関しては、行政と話し合いを行い結果がでしだい整える考えです。 | 消防署立ち合いの避難訓練を実施する。各災害発生時の避難経路の確立。災害時の地域の拠点となるよう心掛けます。地域住民の備蓄に関しては、行政ならび地域住民の皆様と話し合いながら行います。 | 10ヶ月 |
| 2 | 5 | 玄関の施設は身体拘束にあたるが、利用者の要望に対して付き添って外に行く取り組みをこれからも継続し、開けられる状況を作る工夫をしてほしい。 | 利用者希望の外出行動は、継続し、回数も多くなるよう心掛けます。ドアの開け方は、分かりやすい箇所に掲示をしていますが、その他の対策として、自動ドアの電源をオフにして解放感を持っていただく。 | 外出は、本人希望及び職員の声掛けなどで外出回数を多くしていく。ドアの開放は、暗証番号掲示のほかに、電源を切るなど解放感を持っていただけるように努力をしていく。 | 6ヶ月 |
| 3 | 15 | 利用者と職員と一緒にテーブルにつき、同じ物を食べることで、食事に対する話題や共通認識を持つ機会となるよう努力してほしい。 | 利用者と職員と一緒に食べるにより、職員間で食事にたいし、共通認識がもてるようにする。 | 大事な食事に対し、ただ一緒に食べるだけでなく、食事について共通認識が持てるようし、利用者個々の食事内容の改善ができるようにする。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。